



➔ 02  
一日総合相談室／人権擁護委員に正木静夫さんが就任／「よいまち」を作っていくための主要指標を紹介／大竹国際交流協会「イメージデザイン」決定

➔ 04  
「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」結果発表

➔ 06  
納税通知書等送付用封筒に掲載する広告募集／在宅緩和ケア講演会／子育てするならわがまちで／マロンの里秋まつり

➔ 08  
消費者シリーズ／年金のはなし／すぐできる介護予防／みんなで考えよう公共交通

➔ 10  
カメラスケッチ

➔ 12  
生涯学習講座参加者募集

➔ 14  
勤労青少年ホーム／スポーツ文化振興奨励賞を交付／としょかんだより

➔ 16  
情報ステーション

➔ 23  
広告

➔ 24  
はじめまして／コーラスフェスティバル

# 一日総合相談室

問い合わせ 企画財政課 ☎2124

とき 11月8日(火) 13時～16時  
ところ ギャラリーおおたけ(市立図書館2階)  
弁護士をはじめさまざまな機関から相談員が来ます。込み入った問題からちょっと聞いてみたいことまで、親切丁寧に相談に応じます。問題や悩みごとを一人で抱え込まずに、まずは会場に来てみてください。

相談機関	相談内容
広島弁護士会(要予約)	離婚・借金・遺言など法律上の問題
中国四国管区行政評価局	国などの行政全般について
行政相談委員	国などへの意見・要望・苦情など
広島法務局廿日市支局	土地・建物登記手続き・戸籍・供託など
大竹市人権擁護委員	いじめなどの人権侵害・人権擁護など
中国四国農政局広島農政事務所	食品表示・食の安全など
広島県西部県税事務所廿日市分室	不動産取得税・自動車税などの県税について
広島県西部建設事務所廿日市支所	道路・河川・港湾・建築基準など
広島地域事務所厚生環境局福祉課	保健・医療・福祉の相談・生活苦など
広島司法書士会広島支部	土地・建物手続きなど
広島県西部こども家庭センター	児童虐待・DV・子どもと家庭に関することなど
大竹市心配ごと相談所	日常生活での悩みごと・心配ごとなど
大竹市	市政に関する意見・相談

※ 相談機関は変更になる場合があります。  
弁護士に相談する方  
予約制で定員になり次第締め切ります。予約は企画財政課まで。  
そのほかの機関へ相談する方  
予約なしの受け付け順になります。

## 人権擁護委員に正木静夫さんが就任



人権擁護委員  
正木 静夫さん(まささしずお 大栗林)



広島法務局廿日市支局長より委嘱状を受け取る正木さん。

4期12年にわたって人権擁護委員を務め、地域の人権擁護活動に貢献された三上次郎さんが任期満了により退任し、10月1日から新たに、正木静夫さんが人権擁護委員に就任しました。  
また同日、任期満了となった古原陽子さんと弘兼秀子さんが再任されました。  
人権擁護委員は、地域の住民が人権を尊重することの大切さについて関心を持ってもらえるような啓発活動を行ったり、法務局や公共施設などで人権相談を受けたりするなど、さまざまな活動を行っています。



### 第五次大竹市総合計画

## 「よいまち」を作っていくための主要指標を紹介 No.3

- ① 総人口
- ② 市内企業従業員の市内定住割合
- ③ 「暮らしやすい」層の市民
- ④ 「幸せ感」に関するポイント

わがまちプランの「よいまち」にどれだけ近づけたかを測る目安として、定住人口や交流人口の増加を視点にしています。

この視点からの指標は①と②の2つを設定していますが、今回は、「指標②市内企業従業員の市内定住割合を増やすこと」について紹介します。

少し前のデータになります。前回の国勢調査によると本市は、昼間人口が夜間人口よりも多いという、近隣市町にはないまちの特徴があります。

これは、市外から本市へ通勤している人が多く、市内に働く場所があり、交流人口が多い状況にあることを表しています。

問い合わせ 企画財政課 ☎2125

実際の数値で見えますと、市内従業員のうち市内に住んでいる方の割合は、57・5%となっており、4割以上の方が市外からの通勤者となっています。

そこですでに、毎日のように本市で一定時間を過ごしているなじみのある方々に、また、新しくこのまちで働くことになる方々に、本市の良いところを知ってもらい、ぜひ市内に定住してもらいたいと考え、この指標を設定しています。

目標としては、わがまちプランの最終年度である平成32年度に、市内従業員のうち65%以上の方が市民になっただけを目標としています。

そのために、特に働く世代向けに、さまざまな定住施策を打ち出していくことはもちろんですが、笑顔と元気があふれる、温かい心を持った市民が行き交う「住んでみたい」と思える素敵なまちを皆さんと一緒に作っていきたくて考えています。

### 大竹国際交流協会

## 「イメージデザイン」決定

問い合わせ 大竹国際交流協会(企画財政課内) ☎2125

大竹国際交流協会は、発足20周年記念事業として、協会の「ロゴデザイン」と「イメージキャラクター」を市内の小学校6年生と中学生から募集し、178人の応募がありました。たくさんのご応募、ありがとうございました。

当協会理事会で応募があった作品を選考し、各部門の最優秀作品を決定しました。  
大竹国際交流協会では、この2つの作品をもとに、「ロゴデザイン」と「イメージキャラクター」を作成します。

#### 最優秀作品

#### 「ロゴデザイン」部門



穂仁原小学校  
小林 聖竜くん(6年)

#### 「イメージキャラクター」部門



小方中学校  
塗木 遥香さん(2年)